

平成 29 年度全国学力・学習状況調査について

1 調査の趣旨

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査対象

- (1) 小学校第 6 学年
- (2) 中学校第 3 学年

3 調査実施日

平成 29 年 4 月 18 日 (火)

4 調査内容 (実施教科等)

- (1) 小学校 第 6 学年

国語、算数それぞれ、主として「知識」に関する問題、主として「活用」に関する問題を出題

- (2) 中学校 第 3 学年

国語、数学それぞれ、主として「知識」に関する問題、主として「活用」に関する問題を出題

※A問題：主として「知識」に関する問題

身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることがのぞましい知識・技能など

※B問題：主として「活用」に関する問題

知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力など

5 調査結果

別紙のとおり

平成 29 年度全国学力・学習状況調査の結果について

坂町教育委員会
学校教育課

1 調査実施期日及び調査実施校数（坂町内小中学校）等

実施期日：平成 29 年 4 月 18 日（火）

学 年	調査実施校数	集計対象者数
小学校第 6 学年	3 校	136 人
中学校第 3 学年	1 校	121 人

2 調査実施教科の平均正答率（坂町内小中学校）（％）

	小学校				中学校			
	国 語		算 数		国 語		数 学	
	A問題	B問題	A問題	B問題	A問題	B問題	A問題	B問題
坂町	82	68	90	54	79	70	66	48
広島県	77	61	81	47	78	73	64	48
広島県との差(ポイント)	5	7	9	7	1	-3	2	0
全 国	74.8 (75)	57.5 (58)	78.6 (79)	45.9 (46)	77.4 (77)	72.2 (72)	64.5 (65)	48.1 (48)
全国との差(ポイント)	7	10	11	8	2	-2	1	0

○主として「知識」に関する問題（A問題）の結果

今回出題された学習内容の知識・技能については、小学校の国語・算数、中学校の国語・数学いずれも県平均、全国平均を上回っている。

特に、小学校では、県平均、全国平均を大きく上回っている。

○主として「活用」に関する問題（B問題）の結果

今回出題された学習内容に係る知識・技能を活用する力については、小学校の国語・算数でいずれも県平均、全国平均を大きく上回っている。中学校の国語においては、県平均、全国平均を下回っている。